

令和3年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館  
の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 公民館

(令和4年度から文化・公民館振興課)

評価対象：令和3年4月1日～令和4年3月31日

評価委員会開催日：令和4年9月21日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
施設概要	収容713名の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために40年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点としてまた地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	41,800,000円（令和3年度、税込み）

2 管理運営の内容

項 目	令和3年度の状況
運営状況	<p>(1) 平等利用の確保</p> <p>①利用者のために自主的に受付時間を21時まで延長した。また、市主催事業等においては、担当課と綿密な打ち合わせを実施し、事業に不要な施設を市民が利用できるよう調整した。</p> <p>②公民館空室状況をカウンターに設置し、だれでも気軽に確認できるようにしたほか、館内表示にユニバーサルシンボルの採用、正面玄関前階段に手すりを設置した。</p> <p>(2) 自主事業の展開</p> <p>①「くすのきマンスリーライブ」や「なわてダンスドリルの祭典」等の自主事業を計27事業企画、うち23事業を実施した。</p> <p>②イクメン写真展やパープル&amp;オレンジリボン啓発事業等を実施し、男女共同参画や暴力、児童虐待防止等の人権啓発に取り組んだ。</p> <p>③様々な市主催事業について、人的、物的支援を行ったほか、公民館利用団体との共催による「音盤懐古～懐かしのアナログレコード鑑賞会」や四條畷市文化協会との共催事業を企画・実施など、各種団体等との協働型の事業を推進した。</p> <p>(3) 施設の情報提供</p> <p>①ホームページでの施設情報や自主事業の情報発信のほか、「市民総合センタージャーナル」の発行や、エントランスロビーのテレビモニターやデジタルサイネージで自主事業や市の事業のPR動画を放映した。</p> <p>(4) 安全確保対策</p> <p>①定期巡回時の点検や適切な保守点検の実施、マニュアル等の整備を行った。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検 ①年間整備計画を策定し、日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画を市担当課に提出した。また、老朽化が進む建物や機器の整備、延命に努め、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう修繕等を行った。</p> <p>(6) 清掃業務 ①日常清掃・定期清掃のほか、1日7回の定期巡回時にも良好な状態を保つように意識し注意を払った。</p> <p>(7) 警備業務 ①1日7回の定期館内巡回や防犯マニュアルに従い職員に防犯の意識づけを行った。</p> <p>(8) 環境への配慮 ①ホール使用時の空調運転を季節ごとに対応し電力削減に努めるとともに、館内照明のLED化により省エネ効果を生み出した。</p>
利用状況	<p>【新型コロナウイルス感染症対策のため、4月25日から6月20日まで臨時休館、4月10日から4月24日及び6月21日から7月11日まで18時以降、8月2日から9月30日まで20時以降、10月1日から10月24日まで21時以降の貸出を停止 ※市民ホールのみ上記に加え7月12日から8月1日まで21時以降の貸出を停止】</p> <p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は5件増加し83件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は55件、市関連の事業は28件であり、貸施設利用が13件の増加となった。また市外居住者の利用は2件増加し、5件であった。</p> <p>利用者数は11,560人で、昨年より4,989人増加している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日、日曜日の利用割合は47.1%であり、土日の利用は全体の約半数を占めた。全体の利用率は28.5%と昨年から増加となった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前、午後、夜間のそれぞれを1枠とすると前年より393枠増加し、2,902枠の利用があった。また、利用者数は、30,421人で、前年度より6,762人増加している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：62.1% 視聴覚室：39.4% 音楽室：38.9% 実習室：23.5% 料理室：13.6% 相談室：11.8%等でギャラリー室を除き全体では31.5%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支状況は、収入が54,829,376円、支出が55,723,562円で、決算額は894,186円の赤字決算となった。</p>

### 3 利用者へのアンケート調査

項目	令和3年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者 調査期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日 調査方法：受付窓口にて用紙を設置し、来館者が自由に記入する形式（通年）及び施設利用者に用紙を配布し、回答を依頼する形式（2/1～2/28）で実施。 回答件数：97件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「とても使いやすい」、「使いやすい」が76.3% 受付スタッフの対応：「とても良い」、「良い」が84.5%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示ホールに大きな鏡があれば嬉しいです</li> <li>・実習室は冬は寒いので、お湯が使えると嬉しいです。</li> <li>・古い館内でも手入れがされていて使っていて気持ちがいいです</li> <li>・会場使用料をもっと安くして欲しい、コロナで会員減少となり維持するのが難しい</li> <li>・動けるイベント（ダンス等）は、場所が展示ホールしか無いので、第4会議室とかもそういうイベントに使えるようにして欲しい</li> <li>・エレベーター点検日に当たってしまい3階までの昇降が大変でした</li> </ul>

#### 4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5   ●4   ○3   ○2   ○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特にハード面については、従前より非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容の見極めを行い、良好な修繕等を行っていることや省エネ・環境負荷の低減に取り組んでいる点のほか、臨時休館期間を活用した施設改善を積極的に実施している点などが評価できる。</p> <p>一方、ソフト面についても、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の実施も継続して積極的に推進しているほか、窓口の受付時間延長や市主催事業における担当課の打ち合わせにより事業に不要な施設の開放を調整するなど、より多くの利用者に施設を利用してもらう取り組みも実施しており評価できる。自主事業については、新型コロナウイルス感染症対策として中止となった事業を除けば、おおむね実施されているが、感染症対策を講じたうえで、更なる充実を図られたい。</p> <p>利用件数については、市民ホール・公民館ともにコロナ禍前に比べ減少しているが、新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休館や18時以降の貸出停止、利用者の活動自粛に起因するものが主な理由であると考えられることから、感染症対策を引き続き講じつつ、今後については、引き続き市関係部署との連携のうえ、対応を検討されたい。</p> <p>予算収支では、今年度は894,186円の赤字となっている。修繕費予算2,000,000円に対して修繕費実績は2,916,691円となっており、修繕費の支出が多くあったこと、および、人件費等の支出増や新型コロナウイルスの影響による施設使用料収入の減少が赤字の要因となっている。次年度においては、健全な支出に努められたい。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

#### (参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果